
Da = Capo

菖蒲つくみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D a l l C a p o

【Nコード】

N 5 3 1 0 C

【作者名】

菖蒲つぐみ

【あらすじ】

シャーロックホームズの名を継ぐ、平成の名探偵。そしてアルセーヌルパンの名を継ぐ、平成の怪盗。月明かりに導かれ、二人は再び出会ったのだ。スター・オブ・ファイアーを廻って彼らの戦慄すべき事件の幕が切られる。

Prologue

夏の訪れを思わせるような初夏の生暖かい夜風を肌を感じながら、怪盗キッドは階下を見下ろした。遙か下に見える赤いランプはパトカーのサイレンだろうか。地上60階の高層ビルの屋上から見れば、大勢の警察官もちっぴけな蟻の集団でしかない。

キッドの立つ場所、それは都内の高層ビルの屋上である。首をほんの少し傾げるだけで視界に入る東京タワー。手を伸ばせば届いてしまいそうな位近い。そして、その周りを轟音を轟かせながら迂回する鉄のカラスが1羽、さらに奥にもう1羽。

警視庁も彼の為なら出し惜しみをしないのだろうか、闇夜には無数のヘリが、まるで獲物を捜すハンターのごとく目を光らせながら巡回を続けている。

『午前12時ジャスト。』

キッドの計画には、1秒の狂いすらなかった。腕時計で時間を確認し、顔を上げる。目指すは寺井ちゃんの待つ、ここから北西へ14km先の雑居ビルの屋上。

この場所からは、六本木の真新しい高層ビルや、副都心と呼ばれる新宿のビル群を一望することができる。おびただしいネオンの数々、まるで人工的な蛍を見ているようだ。異性を口説き落とすなら、もってこいのシュチュエーションである。だが、彼の手の中には、そんな安っぽい光りなんか比べものにならない程、色鮮やかに美しく輝く宝石が握られていた。

ハンググライダーで飛び立つ前に、一つやっておかなければならないことがある。それは傍から見れば然程重要とは思えないような行為であるが、彼にとってはヤマを踏む中での鍵と言っても過言では無いだろう。

キッドは恐る恐る今夜の獲物を月明かりに照らして見る。幾度となく、この瞬間を経験してきたが、胸の高鳴りが治まる時は無かった。

腕を伸ばし、獲物を照らす。彼の眼に映るものは 輝く宝石の
向こうに透けて光る、月のシルエツト。

『予想はしていたけれど・・・』

キッドご自慢のポーカーフェイスも、この時だけは歪んでしまうのだろうか。彼の表情は明らかに落胆していた。

だが、キッドはいつまでもこの感傷に浸っているわけにはいかなかった。なぜなら、この頃合いを見計らったかの様に、彼の背後から規則正しく、足音が一步、また一步と、こちらに近付いてきているからだ。まるでわざと静寂を破るかのように。

キッドには、この足音の主の検討がついていた。今夜、この場所に来るのは一人しかいない。彼はクルリと体の向きを変え、月に背を向けると、

「お待ちしていましたよ。お久しぶり・・・いや、ここは初めましてと言っべきかな。」

ゆっくりと、背後から迫っていた人影に声をかけた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5310c/>

Da = Capo

2010年10月15日01時37分発行